

平成30年度 亀田医療大学「市民公開講座」

鴨川市のバリアフリーを考える

2019年2月16日(土) 13時～16時

■ 基調講演 13:00～13:45

車いす生活者と人々をつなぐ

大嶋 幸一郎

社会福祉法人太陽会 たいよう 理学療法士

■ シンポジウム 13:50～15:20

バリアフリーへの取り組み

シンポジスト

井下 龍

亀田医療大学 1年生

藤田 裕大

城西国際大学観光学部 4年生

久根崎 克美

NPO法人鴨川未来倶楽部 理事長

牛村 隆一

鴨川市健康福祉部 部長

会場 亀田医療大学 ミズキホール

千葉県鴨川市横渚462 学生会館4F

対象者 どなたでも参加可能

参加費 **無料**

申し込み ファックスにて申込み（裏面の申込書）
当日参加も可能

※車いすで参加の方は、座席確保のためお申し込みください。

その他 ・会場では、車いす体験、健康チェックもできます。（15:20～16:00）
・駐車場には限りがあります。相乗りでの参加にご協力願います。

問い合わせ先 ☎ 04-7099-1211（亀田医療大学）

後援 鴨川市、城西国際大学観光学部、NPO法人鴨川未来倶楽部

■ 講師 (敬称略)

大嶋幸一郎

1979年生まれ。山口県萩市出身。航空自衛隊、介護福祉士を経て、2007年 理学療法士を取得。同年、亀田総合病院へ入職。現在、介護老人保健施設たいよう所属。

2019年 短時間に特化した通所リハビリテーション施設『Sun Daycare:サンデイケア』の開設に携わる。“Dream and Do” (夢見ることはできること)をリハビリコンセプトに掲げ、『なりたい自分をあきらめない』、あたらしい選択肢を提案し続けている。

■ シンポジスト (敬称略)

井下 龍

一年後期の「南房総の歴史と未来」という科目では、実際に車いすに乗って、鴨川シーワールドの観覧、JR電車を使った通学、車いすスポーツの理解をテーマにした体験学習を行いました。健康な日頃の生活とは異なる目線でこの街を見てみると、意外な発見や驚きがありました。これらの内容を皆様と共有し、看護師を目指す自分として、誰にとっても住みやすい、人にやさしい街づくりを考えてみたいと思います。

久根崎克美

鴨川市(旧天津小湊町)出身。平成28年 まちづくり系NPO 法人鴨川未来倶楽部を設立し事務局長、平成30年より理事長に就任。まちづくり座談会や空き店舗活用、婚活イベント など多様な事業を企画。また、城西国際大学観光学部学生と協働で、バリアフリーとユニバーサルツーリズムの研究に取り組む。現在、「こころのバリアフリー」の啓発活動を展開。一昨年11月に難病「ALS(筋萎縮性側索硬化症)」発症。日本ユニバーサルマナー協会会員。ユニバーサルマナー検定2級取得。

藤田裕大

1996年生まれ、22歳。東京都江戸川区出身。城西国際大学観光学部ウエルネスツーリズム学科4年在学中。1632gの未熟児で出生し、生後まもなく脳性まひと診断される。幼い頃からの鉄道好きが高じて観光学部に進学し、車いすユーザーとしての視点から、鴨川市前原海岸に砂浜用車いす導入プロジェクト「カモチャレ」を実施した。高齢者や障がい者にも旅行を楽しんで欲しいとの思いで、ユニバーサルツーリズムについて、考察している。

牛村隆一

鴨川市健康福祉部長。健康推進課長及び子どもや障がい者、高齢者など対象者を問わない、包括的な支援を行う鴨川市福祉総合相談センターのセンター長を兼務。市民の健康づくりの推進とともに、地域における住民相互の支え合い体制づくりを促進し、障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けたまちづくりに取り組んでいる。

会場MAP

▼亀田医療大学まで



▼大学構内会場まで



【平成30年度 亀田医療大学市民公開講座申込書】

申し込み締め切り 平成31年2月13日(水)

この用紙のまま、ファックスでお送りください。

FAX 04-7099-1327 亀田医療大学

(フリガナ) 氏 名	所属：職種 (所属・職種がなければ記入不要)	車いすで参加 下欄に○
	:	
	:	